



高麗中学校だより

日和田

令和5年・5月号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

楽しみを活力にする5月

日和田山は緑のパッチワーク。ひとり一人に個性があるように、日和田山の木々もそれぞれの色で個性を主張しています。

さて、4月の入学式、始業式後に何人かの生徒と話をする。「立志式が楽しみです。」「宿泊学習が楽しみです。」「大会が楽しみです。」など、楽しみのオンパレード。楽しみがあるから活力が湧き出る、それくらい生徒の表情は輝いていました。

楽しみは人それぞれ。喜びの基準も人それぞれ。しかし、毎日の生活に何かしら楽しみを見いだせる、そんな心の持ち方が大切なのだと生徒から気付かせてもらいました。ひとり一人が自ら楽しみを見だし、よさや取り柄を伸ばす5月になることを願っています。



自律って何？

社会を生き抜く力として求められているのが「自律」。親元を離れて独り立ちする、身の回りのことを全て自分で行う「自立」とは違います。

自分なりの価値観を持ち、自分で自分をコントロールしながら生きることが「自律」。

私が考えた高麗中バージョンの「自律」は、自分で考え、選択し、行動する力。

誰かに指示されるのではなく、自分なりに考えてみる。選択肢が一つだと道が開けなくなるから複数の選択肢を考える。そして、その中から最良なものを選択し、行動する。自分で答えを見つけることが「自律」への第一歩です。

ペーパーレス化へ

GIGA端末から加速してきた教育の情報化。今や職員会議も端末を利用し、完全なペーパーレス。

今後は、保護者の皆様への通知についてもメール等の通信手段を利用する方法に順次移行したいと考えています。

とは言え、決して急ぐのでは無く、当分の間はメールと紙媒体を併用します。

また、学校だより、学年、学級だよりは紙媒体での配布にいたします。可能な範囲を模索しながらペーパーレス化を進めて参りますのでご協力お願いします。

高麗の風景

・準備が必要だと思って

朝、職員室の前で誰かを待っている3年生2人。「今日は避難訓練があるので、ぞうきんなどの準備をした方がいいと思って相談に来た。」とのこと。旧美化委員としての責任ある行動。その後、3年旧美化委員6名が集まって昇降口で準備をしてくれました。

気が付くと他の場面でも、広報委員、図書委員などの委員会が旧委員のメンバーを中心に新組織が決まるまでと自主的に活動していました。自律した大人の行動に拍手！

・意識して 気持ちのよいあいさつ

4月早々の嬉しい変化、それはあいさつ。部活動の様子を見に行くと、遠くからでも気持ちのよいあいさつが聞こえてくるようになりました。技能の取得、技術の向上は決して簡単なことではありません。しかし、あいさつは意識を変えるだけで、一瞬にして出来るようになる。違いは、やるかやらないかだけ。やればできることをやらない人は大成しません。日本一のあいさつから、日本一の技術が生まれる…と、私は信じています。